２・３面　特集記事
一歩先の未来へつなげる架け橋
３面コラム　ここに母校あり
横浜市立日野中央高等特別支援学校

第162号
PTAよこはま

発行日／平成30年7月1日　発行者／横浜市ＰＴＡ連絡協議会　横浜市中区港町1-1 横浜市教育委員会内 TEL662-7080 FAX662-6084　編集／平成29年度 常置広報委員会

35回目となる今年の写生大会は、初めて山下公園から新横浜公園に場所を移して開催されました。当日は初夏を思わせるような晴天の中、友だち同士やご家族など、たくさんの皆さんが参加してくださいました。参加者はそれぞれの感性で思い思いに描いていました。たくさんの笑顔と歓声が溢れる一日になりました。

第35回　よこはまファミリー写生大会
～新横浜公園～

横浜市ＰＴＡ連絡協議会主催　平成30年４月22日（日）９時30分～14時

☆朝早くから受付も賑わいます☆

開催時間前から受付で画用紙を受け取るための長い列ができていました。画用紙を配布する役員も大忙しでしたが、嬉しそうな子どもたちの笑顔に癒されました。参加者は画用紙を受け取り場所を選び、描くものを決めたらすごい集中力で一気に描き上げていました。

「できた～！」　上手に描けたね

☆横浜市立小学校図画工作教育研究会会長　江口和良先生（美しが丘西小学校校長）に伺いました☆

子どもは思いもよらない視点で描きたいものを見つける感性をもっています。描いたばかりの絵を見ながら子どもと話をするのは大変楽しく、毎年講評するのを楽しみにしています。

「何色にしようかな？？？」

☆参加者の保護者にお話を聞きました☆

家族６人全員、毎年ファミリー写生大会に参加しています。私自身が小学生の頃に毎年参加していて、とても楽しかった思い出がありました。その頃ぺんてる賞をいただき、自信につながったことを覚えています。子どもたちにもぜひ同じ体験をしてほしいと、親子二代で参加するようになりました。子どもの一人が初めて参加した際に賞をいただき、それが兄妹の間で絵を描く意欲に火をつけ、その後それぞれがファミリー写生大会で賞をいただきました。外に出て絵を描くことはとても楽しく気持ちもいいので、これからも参加していきます。

☆参加者の保護者にお話を聞きました☆

初めは別の場所で描いていましたが、暑かったので日陰に移動しました。親は授業参観で見ているかもしれませんが、私は祖父なので、こうやって孫が絵を描いている姿が見られる機会は嬉しいです。

☆図工委員の先生方の講評☆

皆さんの描いた絵は横浜市立小学校図画工作教育研究会の先生方が受け取り講評してくださいました。

- 幸せが伝わってくる絵だね！
- 空の青を一色ではなく何色も使って工夫したね。
- 絵を描くのが好きだとすごく伝わってきたよ。

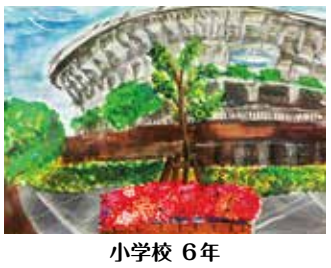
第35回よこはまファミリー写生大会　表彰式

日時：平成30年６月10日（日）14時～
場所：横浜市健康福祉センター　４Ｆホール

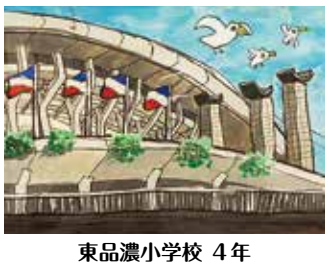
横浜市健康福祉センターにて入賞者の表彰式が行われました。壇上から名前を呼ばれ「はい！」と元気よく返事をし素晴らしい笑顔で賞状を受け取っていました。入賞作品は横浜市民ギャラリーに展示され、力作揃いの素晴らしい絵であふれていました。

横浜市ＰＴＡ連絡協議会ＨＰにて受賞作品の掲載を行います。　→http://pta-yokohama.info/

☆横浜市長賞☆



小学校 ６年
清水　すみれ



東品濃小学校 ４年
奥　蒼生

北山田小学校 ２年
小山　澄都

平成30年度　横浜市ＰＴＡ連絡協議会 大会式および総会　開催

６月15日（金）午後１時より横浜文化体育館において市内の小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の各代表および関係者630名の出席のもと、平成30年度横浜市ＰＴＡ連絡協議会大会式および総会が開催されました。

大会式

開会のことば、国歌、市歌斉唱に続き、横浜市ＰＴＡ連絡協議会海上会長から挨拶がありました。来賓からは、横浜市教育委員会鯉渕教育長、横浜市立高等学校校長会会長長田校長より祝辞をいただきました。来賓紹介、横浜市林市長の祝電披露の後、優良ＰＴＡ・広報紙コンクール受賞の各団体の表彰、横浜市立小学校図画工作教育研究会、平成29年度市Ｐ連理事・常置委員への感謝状贈呈が行われました。

総　会

開会のことば、資格確認に続き、議長団が選出され、予定の議案は審議後すべて承認され、新役員・会計監査の紹介、退任役員の挨拶に続きＰＴＡの歌を斉唱し閉会しました。

議　事

平成29年度：事業報告、会計決算・監査報告、補償制度維持費決算報告・監査報告

平成30年度：理事（案）、役員および会計監査（案）、スローガン（案）・活動方針（案）、事業計画（案）・予算（案）、補償制度維持費予算（案）

～ごあいさつ～

横浜市ＰＴＡ連絡協議会
会長　**海上　良太**

横浜市立学校のＰＴＡのみなさまにおかれましては、日頃より横浜市ＰＴＡ連絡協議会の活動にご協力をいただきましてありがとうございます。

今年度も「おとなも育とう、こどもと共に～ＰＴＡで築く信頼・規範・ネットワーク～」のスローガンのもとに活動、事業を行ってまいります。

近頃、ＰＴＡの存在意義が大きく問われています。様々な議論がなされている中、大切になるのが、一人でも多くのみなさまに参加していただける「体制づくり」や「活動の充実」を実現することです。

横浜市ＰＴＡ連絡協議会では、みなさまが無理なく楽しくＰＴＡ活動を行うための情報を随時発信してまいります。今年度も横浜市ＰＴＡ連絡協議会の活動にご協力をお願いいたします。

平成30年度　横浜市ＰＴＡ連絡協議会　役員・会計監査

スローガン：おとなも育とう、こどもと共に～ＰＴＡで築く信頼・規範・ネットワーク～

副会長：梅田比奈子
（小学校長会
瀬ケ崎小学校校長）

副会長：金澤　眞澄
（中学校長会
横浜吉田中学校校長）

【前列左から】
副会長：七海　雷児（神奈川区三ツ沢小学校）
副会長：荒巻　正則（港北区樽町中学校）
会　長：海上　良太（南区南中学校）
副会長：樋口眞砂子（高等学校部会
金沢高等学校）

【後列左から】
書記：秋好　直樹（泉区泉が丘中学校）
書記：村田　広美（瀬谷区瀬谷中学校）
会計：菅野　陽子（鶴見区市場中学校）
会計：橋本　静江（特別支援学校部会
港南台ひの特別支援学校）
書記：青木　潤　（緑区十日市場中学校）

会計監査：小河　正隆（磯子区森中学校）
会計監査：上田　伸彦（特別支援学校部会中村特別支援学校副校長）

H29 JYOUCHI KOUHOU Masako/Yoko/Mutsumi/Mitsue/Chie/Yasuyo/Yuko.A/Yasuki/Tomomi/Chizuko/Yuko.S/Maki/Yasuo/Asami/Yuri/Sachiyo/Ryoko/Eriko

ここに母校あり～未来に羽ばたけ～

横浜市立 日野中央高等特別支援学校

数少ない横浜市立の『高等部のみ』の特別支援学校

横浜市立日野中央高等特別支援学校（港南区）は、知的障がいが軽い生徒の後期中等教育を充実させ、企業就労による社会的自立を目的とした職業教育を行う高等部のみの特別支援学校として昭和56年に開設されました。

キャリア教育の視点を中心として教育課程を見直し、卒業後の生活を豊かに送ることができる生徒、豊かな人間関係を築きつつ長く働き続ける事ができる生徒を育てようとしています。

ＰＴＡは、本部を中心に学年成人・広報・進路対策と三つの委員会を有し、学校の取組を支援しつつ、会員同士のつながりを深めようと努力しています。

ＰＴＡ活動を行うにあたり、毎年スローガン（平成29年度は「元気なあいさつ、気持ちのつながり!!」）を掲げ、「子どもたちの楽しい学校生活や健全な自立を願い、教職員・保護者が連携し、共に活動していく」「保護者が互いに思いやり、諸活動を分担し合い、共に歩む姿勢でのぞむ」の二つを活動目標としています。

基本活動は「学校行事への積極的な協力と参加」「神奈川県特別支援学校知的障害教育校ＰＴＡ連合会・横浜市ＰＴＡ連絡協議会特別支援学校部会等、外部機関諸団体での活動」「会員間の自主的活動の支援等」の三つです。

次に各委員会の活動を紹介します。学年成人委員会は、自立を目指す子どもたちのサポートができるように保護者同士のネットワーク作りのお手伝いとして、学年ごとの懇親会や講演会等を行っています。広報委員会は、学校生活での生徒の生き生きとした姿をお届けできるよう、広報誌を年２回発行しています。進路対策委員会は、進路専任の先生方と共に、子どもたちのより良い進路選択や研修会・企業や福祉施設見学会等の活動を行っています。

また、毎年９月に開催される「こうよう祭バザー」にも参加しています。平成29年度は、本部はフランクフルトの販売、学年成人委員会は豚汁の販売、広報委員会はコロッケ等の揚げ物・おにぎりの販売、進路対策委員会はダーツ・輪投げのゲームを行いました。その他、一般の保護者の方には「こうよう祭サポーター」として会場設営等のお手伝いをしていただきました。

委員会の皆様をはじめ、大変ながらも一生懸命、楽しく協力し合い頑張って活動しています。

地域との深いつながり 教育水田活動　万騎が原小学校・南本宿小学校（旭区）

旭区の万騎が原小学校と南本宿小学校では、地域の方々と共に教育水田活動を行っています。

子どもたちに稲作を通じて命の大切さを知ってもらおうと始まったこの活動は、今年で32年目。特徴的なのは、４月上旬のもみ種選別作業から始まって、もみまき、田起こし、田植え、そして10月の稲刈りまで、すべての工程を子どもたちが機械を使わず手作業で行うこと。ここまで本格的な水田活動は、かなり珍しいとのことです。

「３本の指でつまんで、種が重ならないようにまくんだよ」――水田指導員の鈴木一松さんのていねいな指導に、子どもたちは元気にうなずきます。４月10日に行われた「もみまき」では、両校の２年生約130人が参加。初夏を思わせる陽射しの中、子どもたちは初めてさわる「もみ種」を小さな手で受け取り、真剣なまなざしで畑にまきました。これから約半年間、学年ごとに作業を分担して育てるお米。最後はお餅にして地域の方や保護者と一緒にいただきます。

初めてだけど、うまくまけたよ！どんな芽が出るのかな、楽しみ！

子どもたちが帰ったあとも水やり、土かぶせなどの仕上げ作業。地域の方や保護者の皆さんも一緒になってお米を育てます。

地域の方の思いが広がって

この活動は地元の鈴木一松さんからの働きかけで始まりました。「子どもたちに食の大切さ、命の尊さを知ってもらおう」との思いが広がり、両校のＰＴＡは水田委員会、ボランティアという形で協力。３年ほど前からは地域の方を中心とした水田サポーターも発足し、地域との深いつながりがこの活動を支えています。

子どもたちに手ぶりをまじえて「もみまき」の説明をする鈴木さん

◎万騎が原小学校・金子祐治校長

子どもたちはこの活動を通して、多くの方たちに支えられていることの感謝や命の尊さを感じています。その一つのあらわれとして当校の給食の残食率はきわめて低く、命の恵みをいただくことを肌で体験した子どもたちが育っています。

◎南本宿小学校・石川英雄校長

地域、保護者、教職員、子どもたちが一つのことに取り組める貴重な機会。学年ごとに作業が分かれており、上級生が下級生の面倒をみたり、下級生が上級生を応援するなど、校内の縦のつながりも生まれています。

６月の田植え作業の様子

今から秋の収穫が楽しみです！

周年記念事業で図書室大改造　中川西中学校（都筑区）

周年記念事業と言えば、お祝い行事を思い浮かべる人が多いのではないでしょうか。今回は「こんな形もあるのか…」と興味をもち、中川西中学校を取材しました。

すべては子どもたちの居場所のために

――大変だったことは？

久野前ＰＴＡ会長「皆さんの声かけで、学校の先生方をはじめ、ＰＴＡの保護者の方、おやじの会、地域のボランティアなど、40～50人の方々が作業に関わってくださいました。その方々で行ったＧＷ中という限られた時間内での作業が大変でした。本棚に白色ペンキを何重にも塗り重ね、ＰＴＡ保護者で分類表示を作成し、手分けしてたくさんの古い本の撤去もしました。」

学校の図書室のイメージを覆す素敵な空間

――本の選別は？

久野前ＰＴＡ会長「大改造が決まった時点で、前校長先生が児童文学評論家の赤木かん子さんにプロデュースを依頼。赤木さんによる本の選別を実施しました。事前に作業にあたる方々を対象に勉強会も行いました。本についての知識が得られ、親子でコミュニケーションを取るよいきっかけにもなりました。」

――目指した図書室は？

小林校長先生「普段、本を手に取っていない男子生徒がたくさん来る図書室を目指しました。科学図鑑、しかけ絵本、そして最近の話題の本など様々な分野の本を揃えています。昼休みには50～60人の生徒が集まります。ラグやソファーでもリラックスして、思い思いに本を手に取り楽しんでいます。」

３次元立体しかけ絵本

＊　＊　＊　＊　＊

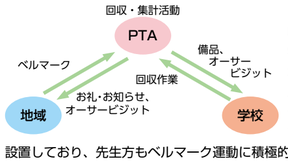
改造は図書室だけではありませんでした。同時期に特別支援室も素敵な居場所へとリニューアル。そこには明るい笑顔で過ごす子どもたちの姿が見受けられました。中学生という多感な時期に素敵な本との出会いの場を作る。教室に行けない子どもたちが居心地よく安心して過ごせる居場所づくりをする。図書室や特別支援室の大改造の理念は、すべては子どもたちの居場所づくりのため。ＰＴＡをはじめとする子どもを見守る立場の大人が一丸となり、周年記念事業という機会をとらえて行った活動。「こんな形で子どもへの思いを伝え、未来へつなげることができるのだ」と皆さんの決断力、協力、行動力に驚き、感動しました。

図書室でお出迎えしてくれるカエルくん

みんなが楽しめるベルマーク運動を！　矢向小学校（鶴見区）

2014年に、50年かけて集めたベルマークの累計が1000万点の大台を突破したという記録を持つ、矢向小学校。ベルマークの回収・集計作業を行っている学年学級委員の皆さんに、その活動についてお話を伺いました。

地域・学校・ＰＴＡの連携を大切に



ベルマークは児童の家庭から回収されるものがほとんどですが、学区内のコンビニエンスストアや地区センターなど合計15か所にベルマーク回収箱を設置し、地域の皆様にも協力をしていただいています。また、職員室にも回収箱を設置しており、先生方もベルマーク運動に積極的です。

回収されたベルマークの使い道については、校長先生と相談してカタログから購入品を決定します。毎年児童たちが必要とするものを購入していますが、一昨年の学校側のリクエストは、正門前に設置する壁掛け時計で、286,200点必要でした。とても１年では集まらない点数でしたが、目標点数まであと何点のベルマークが必要かということを、『ベルマークだより』を通じて呼びかけることにより、２年間で目標を達成することができました。

『ベルマークだより』は、学校・児童に配付されるだけでなく、『地域号』も発行して地域の皆様へ回覧しています。これは、地域へのベルマーク協力の呼びかけだけでなく、購入品の報告やお礼の気持ちを伝えることにも一役買っています。

また、集めたベルマークは備品として児童に還元されるだけではありません。

2014年にはベルマーク３万点で応募できる『オーサービジット』というシステムを使って、宇宙飛行士の山崎直子さんに講演をしていただいたそうです。矢向小学校がホタルの育成に力をいれていることを活用し、この時のキャッチコピーは、『ホタルを宇宙につれてって』。講演当日は、ホタル育成に携わる地域の方々にも参加していただいたそうです。

『ベルマーク運動』を通して、地域・学校・ＰＴＡが一つになるきっかけを作っていることを感じられる話を伺うことができました。

アイディア次第で…

テトラパック回収箱

矢向小学校の昇降口には、とても魅力的なデザインをした『テトラパック回収箱』が設置されています。以前は『回収箱』と書かれただけの段ボールを用意していたそうですが、この回収箱を設置することでテトラパックが以前より多く集まるようになったそうです。

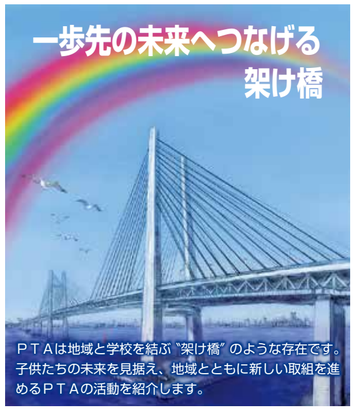
ＰＴＡ活動は大変なので、少しでも仕事を減らしたいと考える人も少なくないと思います。けれども、このテトラパック回収箱作成のように、一見大変な作業であっても、ひと手間加える工夫をすることにより、結果としてＰＴＡ活動を活性化させたり、運営効率を上げたりすることもあります。ＰＴＡ活動の効率化とは、仕事を簡略化することばかりではないのではないかと考えさせられました。

また、ＰＴＡがベルマーク運動を通して、地域と学校を結びつけるための重要な役割を担っていることもあらためて確認することができました。学校のために、子どもたちのために…と思って参加しているＰＴＡ活動も、巡り巡って、地域のメンバーである自分のためにもなっている、ということもあるのではないでしょうか。

＊『オーサービジット』とは

子どもたちに人気の本の作者（オーサー）が、各地の学校を訪ねて楽しい特別授業をする読書推進事業（朝日新聞社主催）で、ベルマーク貯金が３万点あれば応募することができます。色紙が応募用紙で、決められた数人の作者から１人を選び、その方に向けて色紙を作成。それを作者本人が選定して訪問先が決定します。当選すると、ベルマーク３万点を支払うことになりますが、25,000円分の本が還元される仕組みになっています。

応募した色紙



ウェブベルマークで被災地の学校と自校を元気に！　平沼小学校（西区）

2016年度、ウェブベルマーク協会学校指定繰り入れ点数全国ベスト10に入っている、平沼小学校にお話を伺いました。平沼小学校は、ベルマーク・ウェブベルマーク累積点数500万点で表彰され、ベルマーク新聞にも掲載されています。

ウェブベルマークとは、協賛ショッピングサイトでの購入金額に応じて東日本大震災の被災地の学校や自校への支援金が得られるインターネットの新しいベルマークです。平沼小学校では2016年度から本格的に取り入れ活用しています。学校全体や地域に浸透するまでにはまだまだ課題を残すものの、これからのベルマーク運動を支える大きな柱として、今後さらに会員に周知し広げていきたいと考え、新年度始まってすぐの学級懇談会でも説明しています。また「ベルマーク通信」として広報紙にカラーで掲載し、より多くの方に見てもらうよう工夫をしています。

広報紙の一部を割きベルマーク運動を分かりやすく載せた「ベルマーク通信」

ベルマーク委員集計の様子

中心となって活動しているのは、2016年度に発足した「ベルマーク委員会」です。きっかけは、ベルマーク活動を「誰もが無理なく参加できる活動」とし、ＰＴＡ全体で盛り上げていこうという方針のもと、活動主体を学年学級委員会から本部の事業として独立させボランティアを募集したことでした。その後、従事者がより主体的に取り組めるよう、ベルマーク委員会として活動するようになりました。2017年度の活動人数はボランティアを含め70名程で活動頻度は月２回。分担して、１人当たり年間２回程度の参加で負担なく活動できるようにしました（自宅に持ち帰っての活動も可能）。また、徹底して負担を軽減するために、ベルマークをきれいに切り10枚ごとに貼り合わせる等の作業をやめて、そのままの状態で集計して送付するようにしたので、2018年度の活動人数は少数精鋭の19人。活動頻度は月２回、分担して年６回程度としています。

また、各教室の他に、町内会や地域のコンビニエンスストア、スーパーマーケットにもベルマーク回収箱を設置し、地域ぐるみで連携して収集しています。点数と引き換えに各教室の扇風機やタグラグビーのユニフォームと交換した実績がありますが、近年では児童用防災備蓄品と交換し災害への備えとしました。その他効率良く点数を増やす工夫として、テトラパック専用の回収箱を設置しています。ベルマークは１点につき１円なのに対し、アルミ付き紙容器40点/kg、アルミ無し紙容器20点/kgで換算されます。重量が関係してきますので、テトラマークを切り取る必要はなく、一部の牛乳パック等に付いている注ぎ口もそのままです。テトラパックは大きな点数となります。

Web Bellmark

URL：http://www.webbellmark.jp

詳しい内容はこちら！

＜取材を終えて…＞

平沼小学校では、ベルマークについて本当によく調べられていて様々な工夫がなされていました。また、子どもたちのために皆で協力しようとする、ＰＴＡをはじめ地域の方々の熱い想いを感じました。これからもベルマーク・ウェブベルマーク運動が、地域と学校、そして被災地の学校ともつながり合い支え合う力となっていくことを強く願います。

買い物も
勉強も
アソビも
全部揃ってる
トレッサ横浜
トレッサ横浜
10:00～21:00
※一部営業時間が異なる店舗がございます。
有隣堂
SUPER SPORTS XEBIO
ペットエコ
環状2号線沿い師岡町交差点そば
土・日は、さらに＋300台
駐車場2,700台
全日無料
トレッサ横浜　検索

神奈川土建
横浜市協議会
安心の住まいづくりは地元の建設組合へ
全県20支部45年の信頼と実績
☎045-453-9806
横浜市神奈川区神奈川2-19-3
この町に暮らしこの町で働く
神奈川土建は建設の仲間でつくる組合です

カメラを持って そごう美術館 に行こう！
フェルメール光の王国展 2018
フェルメール全37点のリ・クリエイト（複製画）で350年前の謎を解く
2018年7月28日（土）－ 9月2日（日）
中学生以下入館料無料
展覧会場内は写真撮影OK！
「小・中学生優先 ジュニアルーム（鑑賞自習室）」があります。
展覧会を見て「見学レポート」や「思い出」をまとめてみよう。
そごう美術館 横浜駅東口 そごう横浜店６階
そごう美術館　検索

《真珠の耳飾りの少女》
©フェルメール・センター・銀座

KidZania Tokyo
夏休みは キッザニア東京 へ行こう！

夏休み応援企画 わくわく自由研究2018　2018年7月21日(土)▸8月31日(金)
今年のキッザニア東京は〈タイムトラベル～しごとの歴史と未来～〉をテーマに様々な限定イベントを実施します。
横浜市限定！
キッザニア東京をお得に予約できます！
詳細・予約は右記専用サイトへアクセス▶▶
住所　東京都江東区豊洲2-4-9 アーバンドック ららぽーと豊洲 3階　www.kidzania.jp/tokyo　お問い合わせ　キッザニア東京インフォメーションセンター 0570-06-4646（9:00–18:00）© KidZania

平成29年度 PTA広報紙コンクール ◉受賞校と作品講評

平成29年度横浜市ＰＴＡ広報紙コンクールに応募された90校の作品の中から次の作品が選ばれました。小中学校の11作品は、日本ＰＴＡ全国協議会「全国小中学校ＰＴＡ広報紙コンクール」に横浜市ＰＴＡ連絡協議会代表として推薦されます。なお、講評は神奈川新聞社にお願いしました。

神奈川新聞社賞・会長賞

◉東山田中学校（都筑区）
「光のかけら」
表紙からテーマに切り込んだ作りは時事性に富み、まさに学校や生徒たちを取り巻くリアルを伝えて見事。一般的な「アルバム風」「この時期はこの特集」を刷新した英断は広報紙のあり方に一石を投じた。写真やデザインでも魅せ全体的なクオリティーの高さは一頭地を抜く。

広報委員長賞・奨励賞

◉立野小学校（中区）
「つなごう　たての子のわ　たての」
特集記事に関連するインパクトある写真を表紙に配し、目を引く学校をいくつか散見した中で、保護者の作品を使用した、やさしく温かいまなざしを感じられる表紙。特に185号は、立野小の目の前にある商店街からの風景が描かれていて、ＰＴＡの皆さんのこだわりと熱意を感じた。

「つづきの風」
表紙は子どもの表情が生き生きとしている。見出しにもインパクトがある。内容も盛りだくさんで、家庭で子どもが保護者と一緒に読めるように工夫されている。間違い探しも毎号ごとにスケールアップし楽しめた。

◉平戸小学校（戸塚区）
「なしの実」
広報紙名からの由来か優しい色使いが特徴的。地域のきずなを深める「平戸の公園博士度チェック」はいい企画。危険箇所も表示されており、子どもは地域全体で見守るのだということをあらためて確認した。似顔絵も楽しかった。

◉中田小学校（泉区）
「なかだ」
子どもたちや先生の表情が豊かでとても楽しそうな学校だ。「ベールに包まれた校長先生のある一日」は、朝礼の時などにしかあまりお見かけしない校長先生の一日の仕事がまさにのぞき見ることができ、いい特集だった。

◉西谷中学校（保土ケ谷区）
「西谷中」
表紙の写真が素晴らしい。中でも第1期卒業生らをモデルに学ランを着ていただいた「よう後輩！」は遊び心にあふれインパクトも大きい。「西谷中いいね！」など特集は踏み込んだ内容の多層的なつくり。「君へ贈る言葉」も嬉しい。

◉岩崎中学校（保土ケ谷区）
「いわさき」
「高校受験!!進路って?」は生徒、保護者ともまさに読みたい内容を丁寧に書き込んでいる。「みんなの気持ち!!」もいい企画で、さまざまな等身大の生徒、保護者の姿、気持ちが見えてくる。読み応えのある一冊に仕上がっている。

◉汐見台中学校（磯子区）
「汐風」
「題字リレー」はユニークな発想で、先生の個性が生きていて面白い。確かに先生たちは「次か次か」とひやひやだったかもしれない。表紙は工夫を凝らしていて見応えがある。「生き物図鑑」も生徒たちの愛情が伝わってくる。

◉横浜サイエンスフロンティア高等学校・附属中学校（高校）
「ＹＳＦ－ＰＴＡだより」
「サイエンス生」というのですね。理数系の専門性を生かした興味深い内容の中にさりげないユーモアが光り好感度が高い。附属中学校の開校で記事の焦点に広がりがある。中学・高校生の交流など今後も目が離せない。

◉港南台ひの特別支援学校（特別支援）
「みどりの風」
子どもたちの笑顔と先生、保護者、関係者らの和やかな表情が、楽しい学校生活を物語っている。子どもたちが愛した学校であることは一目瞭然、巣立ちの言葉も贈る言葉もあり、子どもたちの一生の記念になる宝物の一冊だ。

会長賞

◉西寺尾小学校（神奈川区）
「にしてらお」
写真のレイアウトに工夫があり、楽しくボリュームもたっぷり。「西寺尾をもっと知ろう」は地域を掘り下げた秀作で、「農業の魅力」は人物を発掘した視点がユニーク。担当者が楽しみながら作っていることが伝わってくる。

◉白幡小学校（神奈川区）
「広報しらはた」
表紙の写真の発想が面白く、号ごとに作風が異なっているのは意外性があり飛びつきやすい。運動会特集号の裏表紙も運動会の光と影のような趣がある。卒業特集号は児童の絵を多用して生き生きとし、子どもたちの明るい未来が見えるようだ。

◉藤塚小学校（保土ケ谷区）
「みちしるべ」
「朝ボラ」「花ボラ」「図書ボラ」の地域ボランティアに焦点を当て、学校、児童たちがいかに地域の人々に支えられているかが分かる秀作。印刷を地域福祉施設に依頼する試みは問題意識を浮き彫りにし、印刷工程も興味深かった。

◉つづきの丘小学校（都筑区）

奨励賞

◉平沼小学校（西区）
◉瀬戸ケ谷小学校（保土ケ谷区）
◉希望ケ丘小学校（旭区）
◉城郷小学校（港北区）
◉長津田小学校（緑区）
◉浜中学校（磯子区）
◉六浦中学校（金沢区）
◉市ケ尾中学校（青葉区）
◉茅ケ崎中学校（都筑区）
◉桜丘高等学校（高校）

平成30年度　新任役員研修会

～ＰＴＡは期間限定！　明るく・楽しく・負担無く～

４月17日、横浜市開港記念会館にて午前と午後の２回に分けて開催され、総勢560名の新任役員が集いました。

研修第１部は、学校支援・地域連携課世古首席指導主事より「家庭・地域・学校のよりよい連携・協働をめざして」との題目で、横浜の概況やこれからのあり方、具体的な取組などの話がありました。

第２部では横浜市ＰＴＡ組織の基本と任意性、情報の入手方法や個人情報保護法など、役員が知っておくべき知識について説明がありました。

そして第３部はＰＴＡ役員経験者による事例紹介でした。それぞれのＰＴＡへの思いや役員になったきっかけ、学校での取組など、ユーモアを交えたお話に、緊張気味だった参加者の肩の力も抜けたようでした。

《事例紹介》（発表順）
西寺尾小学校　白石洋子会長
「ＰＴＡ活動は　た♪か☆ら♪」
日吉台西中学校　倉上紀子会長
「『子どもたちのために』というけれど」
横浜サイエンスフロンティア高等学校・附属中学校
角谷弘樹前会長
「高校のＰＴＡってどうなのよ？」
中村特別支援学校　生方孝子前会長・佐藤恵会長
「中村特別支援学校の紹介」
城郷小学校　古川典明会長
「ＰＴＡは親子の成長の場!!」
洋光台第二中学校　大長卓也前会長
「みんな最初は一年生」

平成30年度　優良ＰＴＡ表彰校

各区部から推薦され表彰されました。おめでとうございます。

菅田小学校ＰＴＡ（神奈川区）
神奈川中学校ＰＴＡ（西区）
西中学校ＰＴＡ（保土ケ谷区）
帷子小学校ＰＴＡ（港北区）
不動丸小学校ＰＴＡ
上川井小学校ＰＴＡ（旭区）
都岡中学校ＰＴＡ
篠原西小学校ＰＴＡ
城郷小学校ＰＴＡ（港北区）
北綱島特別支援学校ＰＴＡ

緑小学校ＰＴＡ（緑区）
緑が丘中学校保護者と教職員の会
鴨志田緑小学校ＰＴＡ
田奈小学校ＰＴＡ（青葉区）
青葉台中学校ＰＴＡ
都筑小学校保護者と教職員の会
荏田南中学校ＰＴＡ（都築区）
飯島中学校ＰＴＡ（栄区）
中和田南小学校ＰＴＡ（泉区）
相沢小学校ＰＴＡ（瀬谷区）

日本ＰＴＡ全国協議会主催　国内研修in渡嘉敷島

国際社会で活躍できる人材を育成するため、全国から中学生を選抜し、国際交流を含めた研修を開催しています。今回は、平成30年３月27日(火)～31日(土)に沖縄県渡嘉敷島にて行われ、横浜市からは２名が参加しました。

私が渡嘉敷島で学んだこと　富岡東中学校　星野　航

私が海に行ったのは２日目の野外炊事が終わった後でした。初めて見た時、あまりにキレイでびっくりしました。海の底まで見え、砂浜は白く、横浜では見られない景色が広がっていました。

その後、海で泳ぎました。海の中にはテレビでしか見たことのない景色が広がっていました。しかし、よく見るとその中には白くなったサンゴや折れたサンゴなどが大量にありました。なぜこのようになっているのかと私は疑問に思いました。

その日の夜に地元の中学生との交流会があり、そこで海の中がなぜこのようになっているのかを知ることができました。それは、マナーの悪い観光客と地球温暖化のせいだそうです。観光客に対しては島民の方が注意してくれているようですが、地球温暖化については私たちひとりひとりが意識を変えて、美しい景色を守っていくことが必要だと感じました。

成長した五日間　日吉台中学校　廣田　美伶

渡嘉敷村の展望台から見た景色がとてもきれいで感動しました。平和学習の中で、渡嘉敷島で多くの方が亡くなったことを聞き、もう二度と戦争を起こしてはいけない。平和を願い、この美しい景色を大切にしたいと思いました。

ワークショップでは「琉舞」を体験し、島の方が優しく教えてくれたおかげで、最後まで諦めずに取り組むことができました。

私は自分に自信がなくて、今までは自分から進んで行動することが難しかったけれど、この研修の中で勇気を出して行動することができました。

島の方の優しさを感じ、班での活動の中で、協力し合いメンバーの良いところを見つけることができました。この研修を通して学んだことを、これからの生活でも生かしていきたいと思います。

◆おめでとう◆

日本ＰＴＡ全国協議会平成29年度楽しい子育て三行詩コンクール市Ｐ連推薦作品が、小学生の部で佳作を受賞しました。

ねたふりしてたらお兄ちゃんが頭をなでてくれた
おきていること気づかれないようぎゅっと目をつぶる
小林　ひかり（戸塚区川上小学校）

平成30年度　常置事業研修委員・常置広報委員

鶴見区
事業　本田　展子
広報　吉岡　美光　渡邊　涼子　高澤　幸子　飯島　歩

神奈川区
事業　飯野　博勝　大下　直歩
広報　福田　瑞樹　目崎　美夏　高瀬　桂子

西区
事業　坪井　亜理紗　田中　愛美　鎌田　世津子
広報　間宮　ともみ　今井　晶子

中区
事業　岩崎　有香子　竹中　恵美　島　江美子
広報　田村　尚子　青木　志保

南区
事業　米澤　泉　西村　隆弘
広報　柳　有香　小柳　佳奈　笠原　タカ子

港南区
事業　南　佐知子　御船　朋美
広報　大石　直子　石井　祐子　間島　智子

保土ケ谷区
事業　奥池　珠美　菊池　理恵　田之上　佳代子
広報　久保田　亜紀　綿貫　文子

旭区
事業　荒井　涼子　黒田　裕子　平松　裕香里　井上　弥幸　小堀　奈央
広報

磯子区
事業　古澤　美千代　岩澤　武士　小出　しのぶ　鈴木　久美子　小坂　幸子
広報

金沢区
事業　石塚　愛　竹中　治子　寺嶋　安代　森　美佐枝　阿部　紀美子
広報

港北区
事業　澁谷　啓子　岡本　博子　伊藤　初江　小原　光子　中西　悟朗
広報

緑区
事業　折原　優子　山戸　貴子　泉　梨恵　三輪　恵美子　三浦　郁子
広報

青葉区
事業　福岡　路子　原　睦美　日比野　夕希子　牧内　タ子　味野　英里子
広報

都筑区
事業　矢吹　幸代　柏木　佳世　河西　智美　萩原　沙織　橋本　縁
広報

戸塚区
事業　伊東　純仁　竹谷　千絵　森野　麻紀　鍋島　朋子　中島
広報

栄区
事業　松尾　晶子　松尾　紘子　菊池　慶子　和田　真弓　免出　涼子
広報

泉区
事業　藤田　恵　宮原　夕紀　須田　清香　秋元　麻美子　荒井　昌代
広報

瀬谷区
事業　栫井　千保　簡井　京子　居馬　智子　柴田　悦子　川口　訓子
広報

特別支援事業　田川　典子
広報　齋木　雅代

事業…常置事業研修委員
広報…常置広報委員
（敬称略・順不同）

PC、スマホ、タブレット…いつでも どこでも
神奈川新聞電子版

神奈川新聞の購読（電子版・本紙宅配）のお申し込みは
ウェブサイト「カナロコ」へ
www.kanaloco.jp
カナロコ　検索
神奈川新聞社デジタルビジネス局
☎045-640-0125（平日の10時～18時）